



消防署訪問で現地の消防職員と



ロープ技術の指導の様子 ※文4



消防署での災害統計の調査 ※文4

海外生活 レポート 42

日本の「防災」を海外で活かす



小林 純平さん (左から3番目)



セントルシア・カストリーズに赴任、川崎市出身
JICA青年海外協力隊

任期: 2018年10月から2年間の予定(当初)

※現在、新型コロナウイルス感染拡大を受け、本年3月に帰国

INFORMATION



セントルシア

| | | | |
|----|--------------------|-----|--------------------------|
| 面積 | 620km ² | 首都 | カストリーズ |
| 人口 | 18.1万人 | 公用語 | 英語(公用語) セントルシア・クレオール語 |

セントルシアについて

セントルシアは、カリブ海の小アンティル諸島に浮かぶ、人口18万人ほどの小さな国です。島の周囲は美しいカリブ海と大西洋に囲まれており、豊かな自然があります。島の南部には、世界自然遺産であるピトン山があり、世界中から多くの観光客が訪れています。

セントルシアの人々

セントルシアはかつて、フランスとイギリスに統治されていた過去があり、両国の影響を受けた当時の文化が色濃く残っています。公用語は英語ですが、多くの国民がフランス語を基としたクレオール語という現地語も話します。人々はとても情熱的、楽天的で、いろんな人が気さくに声をかけられます。また、レゲエをはじめとしたカリブ音楽も多く好まれています。

活動内容について

1 NEMOでの活動

私の配属先は、セントルシア国内の災害を取り扱う国家危機管理機構(通称NEMO)です。ここでは、自然災害をはじめとした国内で発生する様々な災害を

統括します。通常時は、災害の予防及び軽減を主眼に置き、国内で防災の啓発活動を行っています。国内外からの専門家の誘致も活発に行われています。JICAによるセントルシアの防災分野での取り組みの周知を念頭に、多くの自治体の訪問を行いました。

2 ハリケーン対応

ハリケーン接近時は、意思決定の迅速化のために各省庁のトップがNEMOに集結し、臨機応変に活動方針を策定します。セントルシアに直撃またはその可能性が高い場合は、夜を徹してハリケーンの監視を行い、国民への情報提供を迅速に行う体制をとります。

3 在トリニダード・トバゴ日本国大使館を通じた消防自動車の寄贈

昨冬、在トリニダード・トバゴ日本国大使館は、セントルシア政府に消防自動車を寄贈しました。各車両には、「From the people of Japan」と記載されています。日本から、消防自動車メーカーのエンジニアの方も招へいし、私は現場での実際の活用方法について指導を行いました。

4 消防署訪問及びロープ技術

セントルシア国内には9つの消防署があります。その各消防署に訪問し、各署の災害統計の収集および日本の消防組織で多く取り入れられているロープ技術の指導を行いました。各署の消防職員と顔の見える関係の構築を行いました。

5 GIS*の導入 *地理情報システム

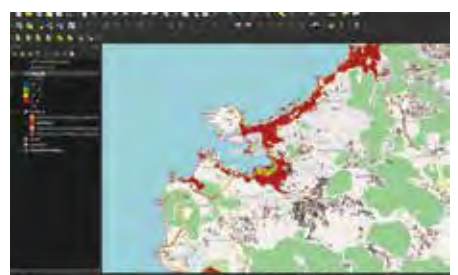
四方を海に囲まれていること、また島中央部には山岳地帯が広がっていることから、水害の危険を多くはらんでいます。GISを用いて、ハザードマップの作成を行い、危険箇所の可視化および住民への防災啓蒙を計画しています。



ハリケーンの監視 ※文2



日本国大使館から寄贈された消防自動車とプロジェクトメンバー ※文3



GISを用いた首都カストリーズ周辺の浸水域の可視化 ※文5

ENGLISH IN BRITISH MUSIC INTRODUCTION TO COURSE

INSTRUCTOR : PHILIP HINDER

I am from Bristol in the U.K. and first came to Japan in the 1980s to teach English here. I have had the opportunity to meet so many wonderful people at the schools and colleges where I have worked.

Music has played a huge part in my life for as long as I can remember. I grew up in the 1960s when British groups such as the Beatles, Rolling Stones and The Kinks were in their heyday. However, I have an interest in all kinds of music, not only pop and rock, but also jazz, blues, folk and classical music. I truly believe music is an international language that can bring people together all over the world. I majored in music at university, and taught the subject for some years at a comprehensive school for 11-18 year-olds in London, and have also played in bands in both London and Tokyo.

In this English course, although I will especially focus on British music, we will also talk about, and listen to all kinds of music, including that from the U.S.A. and Japan, too. Each lesson will have a theme, whether it be songs about British life, influential musicians, examining lyrics, songs which have a personal significance, etc.

Whether you are a music fan, can play an instrument, or just would like to learn more about music and British culture, I am sure that this course will have something of interest to offer you. I hope you will also be able to enjoy speaking in English about the music you like in a relaxing setting. I am looking forward to meeting you in October.

語学講座「英語で学ぶイギリス音楽」

講師：フィリップ・ヒンダー先生

私はイギリスのブリストル出身で、英語を教えるため1980年代の初めに来日しました。

以来、教えてきた学校や大学で多くの素晴らしい人と出会う機会がありました。

思い出す限り、音楽は私の人生にたくさんの影響を与えてきました。私はイギリスのロックグループのビートルズ、ローリングストーンズやキンクスが全盛期の1960年代に育ちました。ポップスやロックだけでなくジャズ、ブルース、フォーク、クラシック、音楽全般にも興味があります。音楽は世界中の人々を結ぶ一種の国際語だと信じています。大学で音楽を専攻し、ロンドンの公立中高一貫校で11-18歳の生徒に音楽を数年間教えていました。また、ロンドンと東京の両方でバンド演奏をしていました。

今回、川崎市国際交流協会の英語コースでは、主にイギリス音楽に焦点をあてますが、アメリカや日本を含む音楽全般も取り上げる予定です。各回の講義では、イギリスの生活に関連する歌、影響のあるミュージシャン、歌詞の検証、それぞれにとって特別な意味を持つ歌などをテーマに行います。

音楽好きかとか楽器の演奏ができるかどうかにかかわらず、音楽や英国文化を学びたい方は、このコースで興味のある何かを得ることができます。リラックスした環境で、皆さんが自分の好きな音楽について英語で話せるようになるようにと考えています。10月にお会いできるのを楽しみにしています。



INFORMATION

英国
(グレートブリテン及び
北アイルランド連合王国)
面積 24.3万km²
人口 6,644万人
首都 ロンドン
公用語 英語



Bienvenue au premier cours de français

PROFESSEUR : MICHEL GONCALVES

Le multiculturalisme est quelque chose qui a toujours fait partie de ma vie. Je suis né en France d'une famille portugaise, et mon entourage était constamment rempli de gens d'origines diverses. Je me suis toujours considéré comme une simple personne parmi les autres, différente par mon histoire et mon expérience, mais au fond identique car humain. C'est pourquoi il m'a toujours été impossible de répondre à cette question que beaucoup me posent : "Quel pays préférez-tu?" Chaque pays à sa culture, son histoire, sa langue qui le rend spécial et unique. J'aime notre monde. Voilà ma réponse.

Lorsque je suis venu au Japon, tout était nouveau. Une pure découverte à tous les niveaux, et cette curiosité allait dans les deux sens. C'est pourquoi j'ai décidé d'enseigner au Japon. J'ai ouvert pour cela ma petite école que j'ai appelé « Share Language School » afin de pouvoir partager cet intérêt que j'ai pour le monde qui nous entoure, partager ma langue et partager ma culture qui je l'espère nous amènera plus proche les uns des autres.

Mon objectif principal durant mes leçons est de favoriser un maximum des échanges spontanés et naturels à travers l'ANL (approche neurolinguistique développée par Claude Germain et Joan Netten au Canada.) afin de développer une compétence implicite, ou l'habileté à utiliser spontanément une langue, mais aussi le savoir explicite, ou la conscientisation de la façon dont une langue fonctionne, les règles de grammaire et le vocabulaire. Cette méthode, je l'espère, nous permettra d'apprendre le français de manière amusante, avec des leçons vivantes et interactives basées sur des situations de communication authentiques. Je vous attends donc tous à KIAN, en espérant pouvoir faire votre connaissance et partager avec vous cette belle langue qu'est la langue française !

語学講座「フランス語 入門」

講師：ミシェル・ゴンサルベス先生

多文化主義は常に私の一部でした。

私はフランスでポルトガル人家族のもとに生まれ、私の周りには様々な出身の人々がたくさんいました。その環境は私にとって全く特別なことではなく、至って普通のことだと思って育ちました。

それぞれバックグラウンドや経験は違えど、同じ人間です。私はよく人から「フランスとポルトガル、どっちの国が好きですか?」と聞かれます。この質問はいつも回答に困ります。それぞれの国にはそれぞれの文化、歴史、言語があり、それは特別でユニークです。なので私は「世界が好きです。」と答えます。

私が日本へ来たとき、私が今まで経験した他の国との違い、それはとても新しく、新たな発見に単純に驚き、興味がわきました。そして日本人が私の経験や文化、言語に興味があることを知り、お互いの文化や言語をシェアできる場所「シェアランゲージスクール」という小さな学校を開校しました。

私のレッスンの教授方法は、ANL (カナダのクロード・ジェルマンとショーン・ネッテンが開発した神経言語的アプローチ) です。人が実際にコミュニケーションを行うために必要な暗示的能力と明示的知識を身に付ける方法です。まず想像する脳の動きを使い、話す際に考えなくても自然に言葉が出てくるような状態を繰り返し練習します。

その後、言語の仕組みをはっきりと意識し、文法の規則や語彙を知識として勉強し理解していくやり方です。



本物のコミュニケーション状況に基づいて、活発でインタラクティブなレッスンをしながら、美しい言語と言われるフランス語を楽しんで学んでいきましょう。KIANでお待ちしています。